

安全な製品、優れた品質の製品をお届けするために

化学物質管理

社内の化学物質情報を適切に管理するために

化学物質管理の考え方

化学物質を取り扱うメーカーとして、化学物質の持つリスクを十分に理解し、環境汚染および災害・事故の防止を図り、人の健康、生態系および環境への影響を未然に防止する責任があります。そのため化学物質の管理統括部署を設置して、管理を行っています。

化学物質管理のリスクマネジメント

私達は、化学物質による環境汚染および災害・事故の防止を図り、人の健康、生態系および環境への影響を未然に防止するために、以下の3つの観点で活動を行っています。そのうえで、安全な製品をお客様にお届けできるように、また地域の方々や従業員が安心して過ごせるように取り組んでいます。

化学物質による災害・事故を防止するための活動

化学物質を製造時に使用することで発生する可能性のある火気事故や労働災害を未然に防止するために、リスクアセスメントを行っています。重大なリスクについては、設備の改善や作業内容などを見直し、リスクの低減を行っています。

人の健康への影響を未然に防止するための活動

社内で使用する化学物質について、健康有害性などの観点から、化学物質が持つリスクを総合的に評価して管理レベルを定めています。評価の結果、リスクが高い化学物質については、使用禁止もしくは使用量を削減しています。

生態系および環境への影響を未然に防止するための活動

製造現場で使用した化学物質が環境に悪い影響を与えないように、社内で適切な処理を行っています。処理の状況については、地域の方々に安心していただけるように定期的に説明会を開催し、理解をいただけるように努めています。

さらに、左記の3つの観点で総合的に判断して運用できるように、グループ自主管理規程を定めています。自主管理物質の個別情報や法規制情報などを円滑に管理するツールとして、2008年12月から「日東電工グループ化学物質管理データベース(NCM)」を運用しています。

品質管理

常に優れた品質とサービスでお客様の満足度を高めるために

お客様に満足していただける品質づくり

私達は、経営理念の「お客様に満足される新しい機能を持った製品やサービスをスピーディに創造します」「企業の社会的責任を常に念頭に置き、地球環境の向上と地域社会の発展に貢献します」に基づき、常に優れた品質とサービスでお客様の満足度を高めるため、「お客様に満足していただける品質づくり」を品質方針として定め、実践しています。

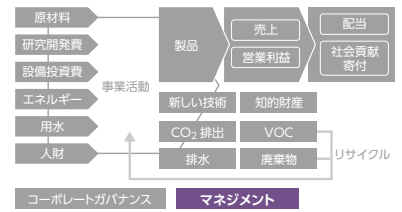
品質のリスクマネジメント

「お客様に満足していただける品質づくり」を行うために、品質異常やクレームが発生する前に問題を解決するべく、2005年度より「先取りの品質マネジメントAQM (Advanced Quality Management)」を導入しています。これまでも、品質マネジメントシステムの導入などで、品質保証体制を向上させる活動を行ってきましたが、AQMによってさらに効果的な改善に取り組みます。

人財の育成と情報共有

どんなに注意深く慎重な人でも、人的なミス(ヒューマンエラー)を起こすことがあります。品質保証をする上で、ヒューマンエラーを発生させない、また発生しても大きな問題とまらない職場に改善していくことが大きな課題といえます。ヒューマンエラー対策を進めるために、まずは従業員数の多い東アジアエリアのうち、17拠点で40人の講師を育成しました。





また、品質部門では、東アジア・南アジア・米州・欧州の各エリアで、問題の共有・解決および連携軸を強化するため「エリア交流会」を毎年開催しています。2012年度は42拠点から48名が参加しました。



米州エリア交流会



欧州エリア交流会

QES[※]監査

グループ全体の、より良い品質・環境・安全活動のために

リスクの見える化と改善活動の促進の取り組み

事業を展開する中で「品質・環境・安全の業務でどこにどの

ようなリスクがあるのか」を、基準を用いて評価しています。その結果を各拠点や職場が認識することで、より良いものづくりをめざしています。また、監査を通じて得た良い改善事例は、他の拠点へ紹介しています。

改善の進捗確認は、本監査の6か月後のフォローアップ監査で行っています。2012年度は本監査を15拠点、フォローアップ監査を12拠点で行いました。

今後の方針

2013年度は、新しく日東電工グループとなった会社や新規建設する工場などへの監査を早期に実施することにより、初期レベルを把握し、早期改善を促進する活動へ特に力を入れています。

また、各拠点の品質、環境、安全の推進者が他拠点の監査に参加することによる、監査の機会を活用した社内の人財育成も行います。さらに、監査活動を通じて発見した良い事例を自職場に持ち帰って反映することで、人財および各拠点の活動レベルの高位平準化を目指します。

上記活動により監査活動のレベルアップだけでなく、社内全体のものづくりのレベルアップにも繋げています。

※QES=quality, environment and safety

製品に含有される化学物質の情報提供

世界的な環境問題への関心の高まりとともに、製品に含有する化学物質の安全性に関連するお客様からの問い合わせが急増しています。お問い合わせの多くは、「製品中にお客様が使用を禁止している化学物質や各国の規制物質が含有していないか」というものです。

日東電工グループでは、それらのお問い合わせに対応する

担当部署を設け、迅速かつ正確な情報を提供しています。

2012年度は、さまざまな国のお客様へ、お客様の国の法規制情報を反映させたSDS(Safety Data Sheet)をより迅速に作成するために、新たなITツールの導入を行いました。今後も、お客様の満足度を高める取り組みを行います。

